

清須市地域包括支援センター

(清洲総合福祉センター内 清須市一場古城604番地15)

■地域包括支援センターとは？

- ▶ 高齢者の方が住みなれた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
- ▶ 主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）、社会福祉士、保健師（経験のある看護師）などが中心となって、高齢者の支援を行います。
- ▶ 相談内容に関する秘密は堅く守ります。
- ▶ 相談は無料です。

介護や健康のこと

- ・介護予防プランをお願いしたい
- ・要介護認定の申請を頼みたい
- ・身体の機能に不安がある
- ・今の健康を維持したい など

権利を守ること

- ・悪質な訪問販売の被害にあった
- ・財産管理に自信がなくなった
- ・虐待かもしれない
- ・つい大声や手が出てしまう など

さまざまな相談ごと

- ・近所の一人暮らし高齢者が心配
- ・近所の認知症と思われる方が心配
- ・トイレに手すりを付けたり、高齢者が使いやすいお風呂のいすが欲しい。
- ・もうすぐ退院だが、家に帰ってからの生活が心配 など

暮らしやすい地域のために

高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政、その他の関連機関との連携体制を進めます。
また、地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう支援を行います。

「ちょっと変だな？」と感じたら地域包括支援センターへ連絡を

- 新聞や郵便物がたまっている
- 昼間でも雨戸が閉まっている、夜になっても明かりがつかない
- 目的もなく歩き回っている
- 天候が悪いのに長時間外にいる
- 夏なのに冬の服を着込んでいる
- 怒鳴り声や泣き声、大きな物音などがする
- 不審な業者などが出入りしている
- しばらく姿をみかけない
- 家や庭の様子が荒れている



H23 初版発行 / H30 改訂 (引用・参考：認知症サポーター養成講座標準教材)

認知症安心ガイド

— 認知症ケアパス —



認知症とは？ 1・2P

認知症の方への対応
家族の気持ちを理解する 3・4P

早期発見・治療 5・6P

認知症ケアパス 7・8P

認知症予防
オレンジサポートチーム 9・10P

サービスや資源 11・12P

認知症支援 13・14P

清須市地域
包括支援センター 15P

認知症は、脳の病気が原因で起こり、誰もがなる可能性があります。85歳以上の4人に1人は、認知症の症状があるともいわれています。認知症についての理解を深め、認知症の方とその家族を温かく見守り、お互いに助け合い『認知症になっても笑顔で安心して暮らし続けることができる地域』にしましょう。

お問合せ

- 清須市役所
高齢福祉課介護予防係 ☎052-400-2911(代表)
- 清須市
地域包括支援センター ☎052-409-9010

清 須 市

認知症とは？

●認知症ってなに？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6ヶ月以上継続）をいいます。

●認知症の原因疾患

認知症の原因となる病気には多くのものがあります。主なものは以下の4つです。

■アルツハイマー型認知症

認知症をきたす病気の中で一番多い病気です。脳の神経細胞が少しずつ減少し、脳が萎縮し発症します。比較的早い段階から記憶障害、見当識障害のほか、不安・うつ状態・妄想が出やすくなります。

■脳血管性認知症

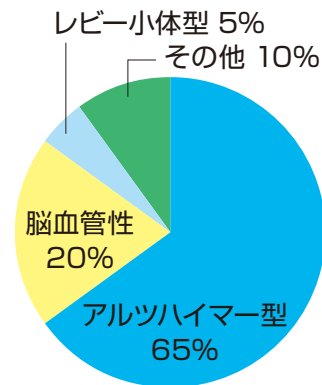
脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化など、脳の血管が詰まったり破れたりすることで、その部分の脳の働きが悪くなり、意欲が低下したり、複雑な作業ができなくなったりします。

■レビー小体型認知症

パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴です。

■前頭側頭型認知症（ピック病など）

前頭前野を中心に障害されるため、我慢したり思いやりなどの社会性を失い、「我が道を行く」行動をとる特徴があります。



●認知症の症状

【中核症状】

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状です。
記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下など

【行動・心理症状】

本人が持っている性格、環境、人間関係などさまざまな要因が絡み合って生じる症状です。
うつ状態、幻覚・幻聴、徘徊、失禁、意欲低下、不安など

●中核症状

■もの忘れ（記憶障害）

脳は、目や耳などから入るたくさんの情報のうち、必要なものや関心があるものは一時的に蓄え、大事な情報は忘れないように長期間保存するようにできています。しかし、脳の一部の細胞が壊れ、そのはたらきを失うと、覚えられない、すぐ忘れるといった記憶障害が起こります。



お昼ご飯はまだ？

対応アドバイス

食事をしたにもかかわらず「食べていない」と訴えられたとき、「さっき食べたでしょ！」と言ってもかえって家族に不信感を持ってしまいます。「もうできるから待ってね」「手伝って」などと言って「食べていない」という気持ちをそらして、忘れてもらうのもひとつの手段です。

加齢による物忘れと認知症の記憶障害との違い

加齢による物忘れ	認知症の記憶障害
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人や誰なのか分からない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁にある
何を食べたか思い出せない	食べたことじたいを忘れている
約束をうっかり忘れてしまった	約束したことじたいを忘れている
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違える

■見当識障害

見当識とは、現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど、基本的な状況を把握することです。記憶障害と並んで早くから現れます。時間や季節感の感覚が薄れることから現れ、場所や周囲の人との関係が分からなくなります。



今日は何日だったかな？

対応アドバイス

「今日は何日？」という言葉のうらには、今日は何日かを知りたいだけでなく、今がいつなのか不安だという気持ちが隠れていることもあります。冷たい口調で答えるのではなく、カレンダーと一緒に見てあげるなど気持ちに寄りそいましょう。

■理解・判断力の障害

ものごとを考えたり、判断にも支障が出てきます。考えるスピードが遅くなり、二つ以上のことが重なるとうまく処理できなくなります。いつもと違うできごとで混乱しやすくなります。

■実行機能障害

物事を行う時に計画し、順番立てて効率よく行うことが難しくなります。

対応アドバイス

そばで見守る、声をかけるなど、支える人がいればできることはたくさんあります。

●行動・心理症状

■妄想



お財布がなくなった!?

対応アドバイス

財布がない、盗まれたと騒がれても「またいつものことでしょ」「また置き忘れでしょ」などと言わずに、「それは大変ですね。困りましたね」と相手の不安な気持ちに共感する言葉をかけましょう。見つかったら「良かったですね」と一緒に喜ぶようにします。

その他…

■意欲低下 ■うつ状態 ■徘徊 ■失禁 ■幻覚 ■人格変化

など、様々な症状があります。

【金銭管理や買い物、書類の作成、車の運転など、日常生活に支障が出ます。】

認知症の方への対応

●認知症の方の気持ちに寄り添う

- 認知症の方を理解しようとする気持ちを持ってください。
認知症の方は、何もわからないのではなく、誰よりも一番心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。
- 認知症の方のプライドを尊重してください。
認知症の方のそれぞれの誇りを尊重して、周囲の方たちが手を差し伸べられるようにしたいものです。
- 認知症の方には、豊かな感情があるのだということを十分理解して、日常生活の支援をしてください。

●認知症の方への対応の心得

3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

介護者の声

「だめ」と言わないで！
頭ごなしに否定すると症状が
もっと悪くなる経験をしてきました。

家族の方へ（介護されるみなさまへ）

- 頑張りすぎず、周囲の方の協力を得てください。
- 一人で抱え込まないで、相談できる人を持ってください。
介護者のつどいや福祉カフェ（サロン）などをご利用ください。
- 介護保険などの、いろいろなサービスを上手に利用してください。

周囲のみなさまへ

本人や家族の立場に思いをはせましょう。「大変ですね、お互いさまですね」「なにかお手伝いすることがありますか」などの声をかけ合ってください。

●認知症の方の応援者になろう！

認知症サポーターとは、特別なことをするわけではありません。

次の3つのことをお願いします。

- ① 認知症について正しく知ること
- ② 認知症の方を温かく見守ること
- ③ 自分のできる範囲で支援すること

■認知症サポーター養成講座

認知症についての知識を深め、認知症の方と家族を温かく見守ってくださる認知症サポーターを養成する認知症勉強会です。認知症キャラバン・メイトが講師となり講座を開催しています。10人以上の参加であれば、出前講座もいたします。受講された方には、認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡しします。

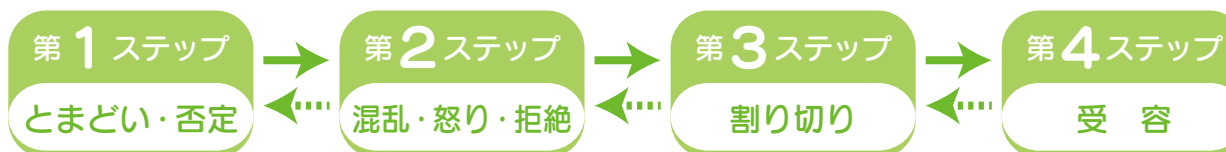
認知症サポーター養成講座に関する事務局は、清須市役所高齢福祉課介護予防係（北館1階 ☎052-400-2911 代表）です。



認知症介護をしている家族の気持ちを理解する

家族の誰かが認知症になったとき、誰しもショックを受け、とまどい、混乱に陥ります。第4ステップの受容にたどりつく間には、第1から第3までを行きつ戻りつを繰り返します。その時期を通り抜け、認知症の方の「あるがまま」を受け入れられるようになるためには、介護者の気持ちの余裕が必要です。

介護者の余裕は、認知症の方本人や家族に対する周囲からの理解や支援と介護サービスの適切な利用などによって得られると考えられます。



ご存知ですか？若年性認知症

一人で悩まないで！認知症は高齢者だけの病気ではありません。

認知症は加齢とともに発症するリスクが高くなります。しかし、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で認知症を発症した場合、『若年性認知症』といいます。

働き盛りでの発症は、『配偶者』『子ども』『仕事』など、周囲に大きな影響を及ぼし、高齢者の認知症と比べ、周囲の人、家族も病気を理解し、受け入れるのに往々にして時間がかかります。



若年性認知症に関する電話相談（相談は無料です）
本人やご家族からの相談を受け付けています。

若年性認知症コールセンター
0800-100-2707

月～土曜日（年末年始・祝日除く）

10:00～15:00

○電話相談（匿名でも可）ができます。

愛知県若年性認知症総合支援センター
0562-45-6207

月～土曜日（年末年始・祝日除く）

10:00～15:00

○電話相談、訪問・来所相談も可能です。

認知症介護研究・研修大府センター
大府市半月町三丁目294番地

早期発見・早期治療が大切です

認知症かな？と思ったら、年齢のせいと考えて放置するのではなく、出来るだけ早い時期に、医療機関などに相談しましょう。

●早期発見が大切な理由

■治る認知症もある

認知症のような症状がでて、治る病気や一時的な症状の場合もあります。例えば正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などは脳外科的処置でよくなる場合があります。甲状腺ホルモン異常なども内科的治療でよくなります。

■症状の進行を遅らせることができる

認知症の原因がアルツハイマー型認知症の場合は、薬によって認知症の進行を遅らせることができます。認知症の原因となる疾患を的確に診断することにより、適切な薬を選択することが可能となります。

■本人や家族に余裕が生まれる

認知症の原因を早く見つけることによって、たとえそれが現段階では治らない認知症であっても、本人やご家族・介護者の生活の質を高め、介護の負担を減らすことができます。障害が重くなる前に後見人を決めておく等の準備をしておけば認知症になっても自分が願う生き方を全うすることは可能です。

認知症チェック表

「なにかおかしいな？」と感じたら、以下の項目をチェックしてみましょう。一年前の状態と現在の状態を比べてみるのも良いでしょう。○をつけてみましょう。

1	同じことを言ったり聞いたりする。	
2	物の名前が出てこなくなった。	
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	
4	以前はあった関心や興味が失われた。	
5	だらしなくなった。	
6	日課をしなくなった。	
7	時間や場所の感覚が不確かになった。	
8	慣れた所で道に迷った。	
9	財布などを盗まれたという。	
10	ささいなことで怒りっぽくなった。	
11	蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった。	
12	複雑なテレビドラマが理解できない。	
13	夜中に急に起きだして騒いだ。	

(国立長寿医療センターで使われているチェックリストより)

合計 つ

●3項目以上に心当たりがある → 専門医に相談を (P6へ)

※このチェック表はあくまでも目安です。認知症の診断をするものではありません。

●病院リスト

受診するときのポイント

どのような変化にいつ頃気づいたのか、気になる症状を書き出し、医師に伝えてください。

医療機関

※診察科は「もの忘れ外来」「こころのケア外来」「精神科」など様々で、紹介状や予約が必要なところもあります。あらかじめ電話をしてから、お出かけください。

■認知症疾患医療センター

病 院 名	住 所	相談窓口電話
国立長寿医療研究センター	大府市森岡町七丁目 430	0562 - 87 - 0827
八千代病院	安城市住吉町二丁目 2-7	0566 - 33 - 5556
いまいせ心療センター	一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30	0586 - 80 - 0647
豊橋こころのケアセンター	豊橋市三本木町字元三本木 20-1	0532 - 45 - 1372
七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下 1432	052 - 443 - 7900
あさひが丘ホスピタル	春日井市神屋町字地福 1295-31	0568 - 88 - 0959
愛知医科大学病院	長久手市岩作雁又 1-1	0561 - 78 - 6246
まつかけシニアホスピタル	名古屋市中区打出二丁目 347	052 - 352 - 4165
もりやま総合心療病院	名古屋市守山区町北 11-50	052 - 795 - 3560
名鉄病院	名古屋市西区栄生二丁目 26-11	052 - 551 - 2802
仁大病院	豊田市猿投町入道 3-5	0565 - 45 - 0110
岡崎市民病院	岡崎市高隆寺町字五所合 3-1	0564 - 66 - 7474

■在宅療養後方支援病院

病 院 名	住 所	相談窓口電話
済衆館病院	北名古屋市鹿田西村前 111	0568 - 21 - 0811

もの忘れ相談医 《清須市内》

(「かかりつけ医認知症対応力向上研修」等を修了された医師のいる医療機関です。)

病 院 名	住 所	相談窓口電話
石原医院	西枇杷島町辰新田 71-1	052 - 501 - 5131
遠藤外科整形外科	西枇杷島町古城 2-4-5	052 - 502 - 8841
尾関医院	西枇杷島町橋詰 72-1	052 - 501 - 5121
きとう医院	寺野美鈴 75	052 - 400 - 7211
五条川リハビリテーション病院	春日新堀 33	052 - 401 - 7272
このはなファミリークリニック	清洲 1-4-6	052 - 325 - 7596
新川病院	土器野 267	052 - 400 - 2711
枇杷島古城こころクリニック	西枇杷島町泉 72	052 - 505 - 8818
水田医院	一場 1419	052 - 400 - 3059
三輪医院	須ケ口 19	052 - 400 - 2057
ゆたかクリニック	春日新堀 52	052 - 408 - 0171

※もの忘れで受診される場合は、あらかじめ電話をしてから、お出かけください。

●相談窓口 お気軽にご相談ください

認知症に関するご相談は、清須市地域包括支援センターへ ☎052-409-9010

●道に迷うことがあるときは！

認知症の方の居場所がわからなくなった場合、すぐに警察に連絡してください。迅速な対応により、発見される可能性が高くなります。

西枇杷島警察署 ☎052-501-0110

①徘徊高齢者登録事業 (窓口 清須市役所 高齢福祉課)

徘徊する可能性がある方の顔写真と緊急連絡先などを、事前に西枇杷島警察署等に登録することにより、行方不明になった際、早期発見につなげるとともに、高齢者の方が住み慣れた地域で安心、安全に暮らすことを目的としています。

②徘徊高齢者捜索メール配信事業 (窓口 清須市役所 高齢福祉課)

徘徊による事故を未然に防止する目的で、行方不明になった高齢者を早期に発見するシステムです。

※詳しくは11ページもしくは清須市ホームページをご覧ください。

認知症ケアパス

状態に応じた適切なサービスの流れ

介護認定を受けなくても使えるサービス

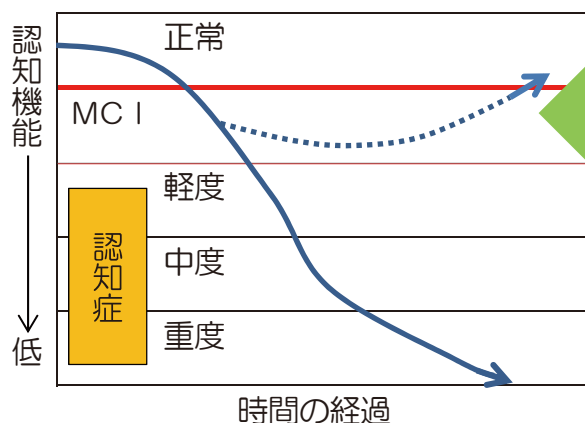
介護認定を受けると使えるサービス（※ただし、一部のサービスについては、チェックリストに該当し、事業対象者になれば利用可）

認知症の進行（右に行くほど発症から経過し進行している状態）

認知症の進行	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
<p>本人の様子 (見られる症状や行動の例)</p> <p><small>*注意*</small> 認知症の原因となる疾患や身体状況などにより、経過は異なり、記載されている症状が必ず現れるとは限りません。今後を見通す参考にして下さい。</p>	<input type="checkbox"/> 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類の作成を含め、日常生活は自立	<input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理にミスが見られるが、日常生活はほぼ自立 <input type="checkbox"/> 新しいことがなかなか覚えられない <input type="checkbox"/> 料理の準備や手順を考えるなど、状況判断が必要な行為が難しくなる	<input type="checkbox"/> 服薬管理ができない <input type="checkbox"/> 電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい <input type="checkbox"/> たびたび道に迷う <input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理などこれまでできてきたことにミスが目立つ	<input type="checkbox"/> 着替えや食事、トイレ等がうまくできない <input type="checkbox"/> しまい忘れをきっかけに妄想が起きる(財布などを盗られたと言う) <input type="checkbox"/> 自宅がわからなくなる <input type="checkbox"/> 時間・日時・季節がわからなくなる	<input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しくなる <input type="checkbox"/> 声かけや介護を拒む <input type="checkbox"/> ほぼ寝たきりで意志の疎通が困難である <input type="checkbox"/> 飲み込みが悪くなり食事に介助が必要
<p>家族の気持ち(例)</p>	<p>年齢のせい。言えばできるはず。否定。</p>	<p>混乱。他人の前ではしっかり、身近な人に症状が強くなる。自分だけがなぜ。拒絶。相手のペースに振り回され、疲れきってしまう。</p>			<p>なるようにしかならない。身体介護が増。最後をどう看取るか。</p>
<p>やっておきたい・決めておきたいこと</p> <p>[本人・ご家族へのお願い]</p>	<input type="checkbox"/> 認知症を予防するため、規則正しい生活を心がけたり、地域の交流の場などへのお出かけを増やしましょう。 <input type="checkbox"/> 認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。 <input type="checkbox"/> 今後の生活設計(介護、金銭管理など)について考えてみましょう。	<input type="checkbox"/> 医療や介護について知りましょう 認知症を引き起こす病気により今後の経過や介護の方法が異なります。間違った対応は本人の症状を悪化させる原因となる危険性があります。周囲が適切に対応することにより、穏やかな経過をたどることも可能です。			
		<input type="checkbox"/> 失敗しないように手助けをしましょう 今まで出来たことが少しずつできなくなり失敗が増えてきます。「失敗をして自信を喪失した」「失敗をして怒られた」といった体験は認知症の症状を悪化させることもあるので、できるだけ失敗をさせない対応と、失敗の影響が最小限になるようにさりげないフォローをしましょう。			
		<input type="checkbox"/> 介護保険サービスなどを利用しましょう 必要に応じて介護保険サービスを利用して、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。介護者があってこそその介護です。自分のことも大切にしましょう。介護者が休息する時間も必要です。また、認知症のことを隠さないで身近な人に伝え、理解者や協力者を作りましょう。同じ立場の人の集まり(家族会など)で、話を聞いたり自分の気持ちを話せる場を持つことも重要です。			
<p>主なサービス</p>	<p>相談</p>	<p>地域包括支援センター、オレンジサポートチーム(認知症初期集中支援事業)</p> <p>認知症簡易チェックサイト</p> <p>介護支援専門員(ケアマネジャー)</p>			
	<p>介護予防・悪化予防</p>	<p>高齢福祉課が開催している一般介護予防教室、寿会、サロン、体操・認知症予防自主グループなど</p> <p>特技や趣味を生かして活躍できるシルバー人材センター、ボランティアなど</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護(ホームヘルプサービス)</p> <p>訪問介護(ホームヘルプサービス)</p>			
	<p>他者とのつながり支援、仕事、役割支援</p>	<p>高齢福祉課が開催している一般介護予防教室、寿会、サロン、福祉センターなど</p> <p>福祉カフェ(サロン)</p> <p>特技や趣味を生かして活躍できるシルバー人材センター、ボランティアなど</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護(ホームヘルプサービス)、小規模多機能型居宅介護</p> <p>訪問介護(ホームヘルプサービス)</p>			
	<p>安否確認・見守り</p>	<p>高齢者等見守り活動、民生委員、認知症サポーター、救急医療情報キット配布事業(独居高齢者)、徘徊高齢者登録事業、徘徊高齢者検索メール配信事業など</p> <p>災害時要援護者登録事業(70歳以上の独居、高齢者世帯、要介護3~5の要介護高齢者など)</p> <p>緊急通報システム(独居の方)</p>			
	<p>生活支援</p>	<p>配食サービス、老人福祉車等購入補助、老人無料入浴制度など</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護(ホームヘルプサービス)</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護(ホームヘルプサービス)、小規模多機能型居宅介護</p> <p>訪問介護(ホームヘルプサービス)</p> <p>非課税世帯の要介護3~5の寝たきり高齢者又は認知症高齢者へ家族介護用品購入(オムツ等)の助成等</p>			
	<p>身体介護</p>	<p>通所介護(デイサービス)、訪問介護(ホームヘルプサービス)、小規模多機能型居宅介護</p> <p>訪問介護(ホームヘルプサービス)</p> <p>訪問入浴介護</p>			
	<p>医療</p>	<p>診療所(もの忘れ相談医)、認知症疾患医療センター、認知症地域ネットワーク連携シート、歯科診療所、薬局</p> <p>訪問看護</p>			
	<p>家族支援</p>	<p>地域包括支援センター総合相談、介護者のつどい・介護者リフレッシュ事業・介護講座(地域包括支援センター)</p> <p>福祉カフェ(サロン)</p>			
	<p>権利を守る</p>	<p>日常生活自立支援事業</p> <p>成年後見制度</p>			
	<p>住まい</p>	<p>自宅、ケアハウス、サービス付き高齢者専用住宅、有料老人ホーム、養護老人ホームなど</p> <p>グループホーム、介護老人保健施設、介護老人福祉施設など</p>			

認知症予防

若いうちから高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満などの生活習慣病を予防することは、認知症の予防につながります。



認知機能が少し低下しはじめた方（MCI：認知症予備軍）でも、認知機能の維持・向上の効果が認められています。
★早期から行う方が効果が高い！

運動すると脳で新たな血管が作られて、脳の血液循環を良くするんだよ。



■ 予防対策

食 事

- 中年期はメタボリックにならない食生活
高血圧、糖尿病、脂質異常、肥満はアルツハイマー認知症の危険因子
- 高齢期には低栄養を避ける
バランス良い食事を。何でも食べよう！

運 動

お勧めは「コグニサイズ」！

- 運動課題と頭の体操（認知課題）を同時に行うことで脳と身体の機能を効果的に向上させます！
例えば、いつもより早いペースで歩きながら、計算やしりとりなどを行います。

口 腔

- 噛んだり、口の周りの筋肉を動かしたりすることは脳を刺激します。
毎食後の歯みがき、定期的な歯科健診よく噛んで食べる、おしゃべりする

社会活動

- 趣味を持つこと
- 友だちや家族とお話すること
- 社会の中で役割を持つこと

やってみよう！「パタカラ体操」

「パタカラ体操」のコツ

- ・ 1音1音はっきりと！
- ・ 口全体をしっかりと動かす！
- ・ 舌の動きを意識する！

「パ・タ・カ・ラ」と発音するだけで口の周りや食べるための筋肉が鍛えられます。



オレンジサポートチームが (認知症初期集中支援チーム) 活動しています！

認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていけるように

● オレンジサポートチームってなあに？

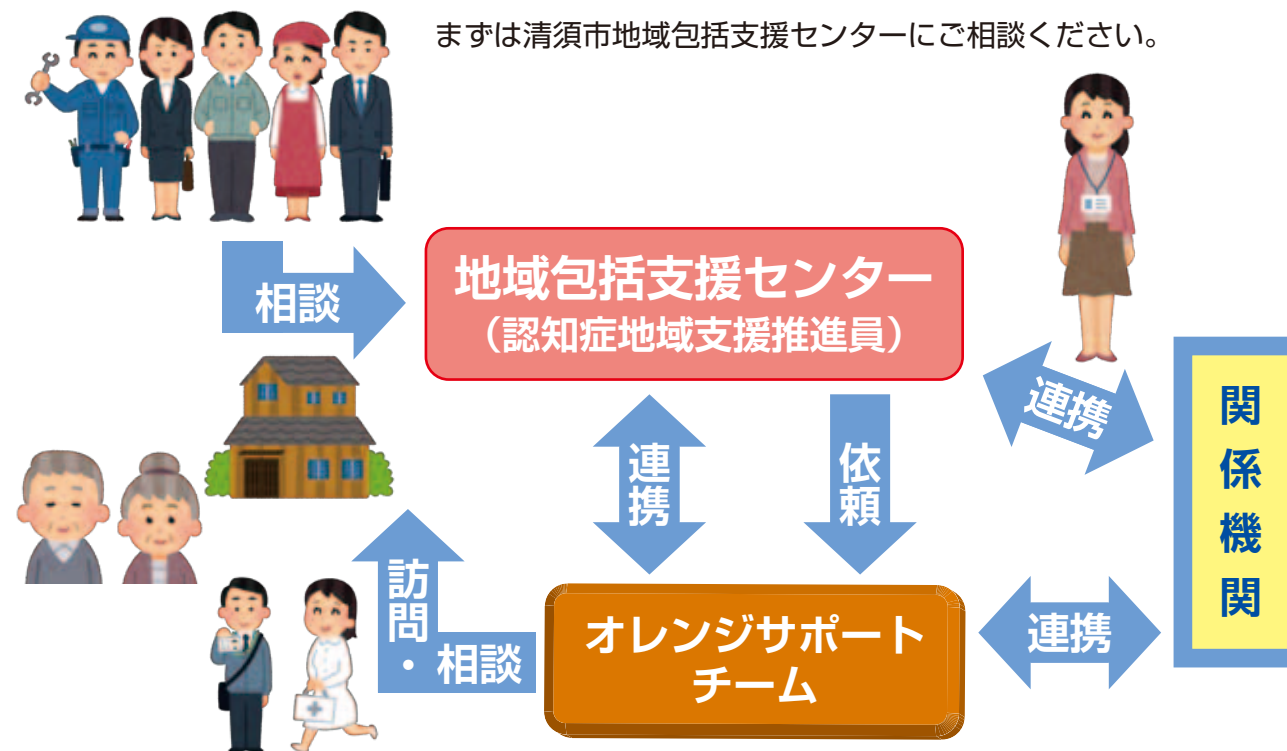
複数の専門のスタッフが、認知症やその疑いのある方とその家族を支援し、必要な関係機関と連携をとりながら住み慣れた地域で自立して生活できるようにサポートします！

【対 象】

40歳以上で、ご自宅で生活しており、認知症の疑い若しくは認知症で医療や介護を受けていない、または中断している方

● どうやって利用するの？

まずは清須市地域包括支援センターにご相談ください。



知っていますか？地域包括ケアシステム

～認知症高齢者の地域での生活を支えるために～

地域包括ケアシステムとは、「要介護状態等になってもその人が望めば、医療や介護など必要なサービスを受けながら、可能な限り住み慣れた地域や自宅で自立した生活が続けられるように地域ぐるみで支える。」というしくみです。



認知症になっても
安心して暮らせる
まち、清須！！

認知症簡易チェックサイト

パソコンや携帯電話で簡単にできる「認知症簡易チェックサイト」です。
「わたしも認知症？」自分の状態をチェックできます。
「これって認知症？」身近な人の状態をチェックできます。

【問合せ先：高齢福祉課】



徘徊高齢者捜索メール配信事業

徘徊等により行方不明になった際に、家族等からの依頼により、市内に設置されている同報無線を利用して捜索するとともに、このシステムに登録していただいた方に行方不明になった方の身体的特徴や服装等の情報を配信します。



行方不明になったら直ぐに西枇杷島警察署へ行方不明の届出をしてください。

【問合せ先：高齢福祉課】

徘徊高齢者登録事業

徘徊の可能性のある方の情報を事前に市へ登録をします。この情報は西枇杷島警察署や清須市地域包括支援センターと情報共有し、行方不明になった時に早期発見につなげます。

<対象者> 清須市内在住の認知症等により行方不明になる心配のある方

<申請時必要なもの> 徘徊の可能性のある方の顔写真

(45ミリ×34ミリの大きさで、6か月以内で正面、無帽のもの)

【問合せ先：高齢福祉課】

ひとり暮らし高齢者登録事業

65歳以上のひとり暮らしの高齢者の緊急連絡先等の情報を警察署・消防署・社会福祉協議会・民生委員・町内会役員と共有し、日常の見守り活動や緊急時に対応します。

【問合せ先：高齢福祉課】



救急医療情報キット配布事業

緊急時に必要な救急医療情報（氏名などの基本情報やかかりつけ病院等の医療情報、緊急連絡先など）を記入した用紙を専用のボトルに入れて冷蔵庫に保管します。万が一の場合、救急隊が病院に搬送する際にその情報を利用して迅速に対応します。

<対象者>

- ・65歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・日中独居で見守りが必要と思われる方
- ・高齢者世帯で見守りが必要と思われる方

【問合せ先：高齢福祉課】

詳しい内容はお問合せください。

緊急通報システム事業

ひとり暮らしの高齢者等の自宅に通報機器を設置し、緊急時に警備会社または受信センターに通報・連絡し、万が一に備えます。

負担金：月500円(前年の合計所得金額が200万円以下の世帯の方は無料)

<対象者>

- ・おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- ・高齢者世帯で緊急性のある病気がある方
- ・身体障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する身体障害者

【問合せ先：高齢福祉課】

配食サービス事業

毎週月曜日から金曜日（祝祭日・年末年始除く）の昼及び夕食を宅配することにより、食生活の改善、健康の保持、そして安否確認を行います。

負担金：1食あたりの単価から市負担金（190円）を控除した額

<対象者>

- ・身体等が虚弱等のため、調理するのに支障のある下記に該当する方
- ・おおむね65歳以上の単身世帯
- ・高齢者（65歳以上）の世帯
- ・身体障害者

【問合せ先：高齢福祉課】

民生委員・地域包括支援センター職員による訪問

民生委員が、ひとり暮らしの高齢者を対象に家庭訪問を行い、見守りが必要な方に対して市のサービスなどをご案内します。また、地域包括支援センター職員が家族や地域住民から高齢者に関する相談を受け、介護保険サービス等必要な支援につなげます。

【問合せ先：高齢福祉課】

老人住宅改善補助事業

自立した生活を営むため支援を必要とする方に、居室、浴室、トイレ等の改善に要する費用の一部を助成します（介護保険住宅改修費の支給との併用可）。事前申請が必要。

補助額：対象改修費用×1/2（最高30万円まで）

<対象者> 65歳以上の市民税非課税世帯で、介護保険の要介護・要支援認定者又は非該当と判断された方

【問合せ先：高齢福祉課】

介護用品支給事業

おむつが必要な寝たきり高齢者に紙おむつ等の介護用品を支給します（病院に医療入院している場合も利用可。介護保険施設入所者は除く）。助成額：月7,000円

<対象者> 要介護認定3以上で65歳以上の市民税非課税世帯

【問合せ先：高齢福祉課】

成年後見制度

認知症などで判断能力が不十分な高齢者が何らかの理由で不利益を被らないように保護・支援するための制度です。

【問合せ先：地域包括支援センター】

日常生活自立支援事業

認知症や精神障害等により日常生活において判断能力に不安のある方に対し相談に応じ、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理等を行います。

【問合せ先：社会福祉協議会】

認知症支援

●地域密着型サービス

地域密着型サービスとは、市が指定をした事業所において、市民だけが利用できるサービスです。

■グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

認知症の方が家庭的な環境と地域住民との交流の下、住み慣れた環境での生活を継続できるようにすることを旨とするものです。（要支援2以上の方が利用できます）

グループホーム 須ヶ口



東須ヶ口 50 番地 052-401-3939
<https://www.facebook.com/tamaiyasutake>

グループホーム須ヶ口では、利用者の皆さまが今まで過ごしてきた環境や趣味嗜好、生活パターンなどのライフスタイルを大切にすることをモットーとしており、今までと変わらない、安心して豊かな生活が送れるようサポートしております。

また、利用者の皆さまが「毎日を明るく健やか」に過ごすことができるように、お花見、節分、ひなまつり、クリスマス会など時季に合わせた行事を行っております。

グループホーム きよす



西田中本城 46 番地 052-400-3004
<http://www.activelifekiyosu.com/>

「和ら居」「のんびりと」「いつも笑顔で」「ともに暮らす」この理念のもと、お互いがお互いを支え合いながら家庭的な雰囲気の中で生活しています。

『行ってきます！』『行ってらっしゃい』

『ただいま！』『おかえりなさい』

『やっと家に帰って来れた』

この言葉がグループホームきよすを「自分の家」「自分の居場所」と思っていただけだと実感しています。

グループホーム ペガサス春日



春日新町 105 番地 052-408-5550
<http://care-net.biz/23/pegasasuharuhi/>

グループホームペガサス春日では、利用者の皆さまには職員とともに家庭的な雰囲気のもと、炊事・洗濯・お部屋の掃除など、ご自宅で暮らしていた時と変わらない生活を行っていただいております。

また、気の合う仲間とおしゃべりや四季折々の花見外出を楽しむなど、笑顔の絶えない日々を過ごしています。ホームでは、職員と一緒に近所のスーパーへお買い物に出かけたり、町内清掃に参加するなど、地域に根ざした活動も行っております。

利用料、詳細なサービス内容については、各事業所へお尋ねください。また、市地域包括支援センターにて相談も行っています。

■小規模多機能型居宅介護

住み慣れた家・地域での生活を継続することを実現できるよう目指したサービスです。利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」を1つの施設で利用できます。

遊楽苑 西枇杷島



西枇杷島町弁天9番地 052-325-6501
<http://www.fukushinosato.co.jp/>

平成26年4月に清須市の指定を受け西枇杷島にオープンしました。

『行って楽しい（通い）、来て嬉しい（訪問）、泊まって安心（泊まり）』『ただいま』と言える遊楽苑西枇杷島を基本理念とし、3つのサービスをいつもの顔なじみのスタッフで対応させていただきます。

家族的な雰囲気の中、安らぎのある1日を過ごしていただけるよう努めています。

●『福祉カフェ』をご利用ください

お茶を飲みながら、施設職員・介護支援専門員（ケアマネジャー）などとお話ししながら認知症に関することや在宅介護の悩みなど、お気軽に相談ください。

地域の皆さまの憩いの場としてもご利用ください。

ペガサス春日 福祉カフェ「なごみ」



春日新町 105 番地 052-408-5550
<http://care-net.biz/23/pegasasuharuhi/>
毎月第1・第3土曜日 10時～12時

福祉カフェ「なごみ」では、毎月第1・3土曜日の午前中に、施設内の喫茶コーナーをご家族や地域の方々へ開放しています。

介護の専門職である施設職員（介護福祉士、生活相談員、介護支援専門員など）が、家族介護をしておられる方々の悩みをお聞きして、解決への手がかりを一緒に見出したり、介護技術をお伝えしたりするとともに、高齢者向けの健康体操などを行っております。

清洲の里 福祉サロン「かぼちゃカフェ」



廻間堂畑 1 番地 052-401-7007
<http://care-net.biz/23/kiyosunosato>
毎月第1・第3火曜日 10時～12時

福祉サロン「かぼちゃカフェ」では毎月第1・3火曜日の午前中に、施設内の喫茶スペースを開放しています。ちょっとした休憩にお立ち寄りいただき、地域の高齢者、介護者、住民の方が、気軽にコーヒーを飲み、施設見学や介護相談、情報交換や介護に関する情報提供などを行います。

「認知症ってどんな症状なの？」「家で介護しなきゃいけないんだけど大丈夫かな？」「施設ってどんなところなの？見学できるかな？」などご不明なことがあれば、気軽にお声をかけてください。

上記の福祉カフェ（サロン）では、清須市高齢福祉課や地域包括支援センターと協働し、地域福祉の促進に貢献できるイベントを開催しています。こうした活動を通して、地域福祉の拠点を担えるよう取り組んでいます。